

安全データシート

SDS

GA 油落とし 強力

作成日・改訂日 2023年2月15日

1

化学品及び会社情報

製品識別 強力汚れはがし剤
商品コード 146152
製品の使用 アスファルト、タール、グリース、油、油性ラッカー、塗料、ステイン、接着剤、シール、ステッカー、ラインテープ、コーキング、マスティック、液体発砲断熱材、シリコーン、シール剤、その他同様の粘着の除去

SDS 作成先の詳細
会社名

発売元
株式会社三共コーポレーション
〒639-2127 奈良県葛城市新町258
担当部門: グリーンエース事業部
電話番号: 0745-62-1317

発行部局:
緊急連絡先: 06-6252-1712(代)

2

危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4H227
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない
	目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性(長期間)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

安全データシート

SDS

GA 油落とし 強力

GHSラベル要素

この製品はGHSに従って分類、表示されている。

注意喚起語

危険有害情報

注意書き

警告

眼刺激

特定の治療法(ラベル参照)

汚染した衣類は再使用する前に洗濯する。

使用に際し肌に異常が現れた場合、医師の手当てを受ける。

眼の炎症が続く場合、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合、水で洗い流し決して吐かせないこと。

火災時には、粉末炭酸ガス又は大量の噴霧水で消化すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

換気の良い涼しい場所で保管する。

内容物/容器は、地域/地方/国/国際的な法律に従って処理する。

3

組成及び成分情報

化審法改正政令2022年10月22日対応

化官法改正政令2023年4月1日対応

化学物質

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	毒物劇物取締法	化審法	安全衛生法	PRTR法
オレンジオイル	非公開	8028-48-6	非該当	非該当	非該当	非該当
d-リモネン	非公開	5989-27-5	非該当	非該当	非該当	非該当
高精製ミネラルオイル	非公開	64742-47-8	非該当	非該当	非該当	非該当
Calumet 142	20 以下	64742-47-8	非該当	非該当	非該当	非該当
Tomadol 1-73B	5 以下	34398-01-1	非該当	非該当	非該当	非該当
Tomadol 91-6	5 以下	68439-46-3	非該当	非該当	非該当	非該当
ラノリン	1 以下	8006-54-0	非該当	非該当	非該当	非該当
アロエベラ	1 以下	94349-62-9	非該当	非該当	非該当	非該当

4

応急措置

吸入した場合

皮膚への接触

眼との接触

経口摂取

空気の新鮮な場所に移すこと。刺激が続く場合は医師に連絡すること。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

刺激が続く場合は、医師に連絡すること。

水で少なくとも15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。刺激が続く場合は、

医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。肺に入ると化学的肺炎を起こすことがある。

5

火災時の措置

適切な消火剤

特殊危険物または混合物から生じる

消防士のための助言

保護装置

油火災として扱う。二酸化炭素または乾燥した化学的泡消火剤。

有機材料と同様、燃焼は二酸化炭素や一酸化炭素を生成する。

燃焼している液体が広がる可能性がある為散水を使用しないこと。

消防士は適切な保護具と自給式呼吸器(SCBA)及びフルフェイスマスクを

加圧モードで着用する。

GA 油落とし 強力

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置	必要ではない
環境に対する予備措置	必要な特別措置なし
封じ込め及び浄化の方法及び機材	吸着剤(砂、珪藻土、酸バインダー、一般的なバインダー、おがくず)で吸着する
他の項目の参照	安全な取り扱いについては、7項目を参照。 個人的な保護装置については、8項目を参照。 廃棄については、13項目を参照。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意	必要な特別措置なし。2項目を参照。 長時間の皮膚接触を避ける。使用後影響を受けた皮膚を洗う。
安全な保管条件	容器を密閉して熱、火花、裸火、高温なもののような着火源から遠ざけて保管する。 乾燥した換気の良い冷所(氷点以上)で保管。 追加情報なし。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	追加データなし。7項目を参照。
管理濃度・許容濃度	設定する必要なし。
個人用保護具	化学物質を処理するため通常の予防措置に従うこと。
呼吸措置	噴霧の吸入を避ける。
手の保護具	長時間の暴露に備えて手袋を推奨する。
手袋の材質	化学物質に対応する手袋。
眼の保護具	跳ね返りの可能性があるので保護眼鏡を推奨する。

9 物理的及び化学性質

外環	
物理的状态	液体
色	淡黄色
臭い	柑橘類の臭い
pH値	なし
沸点	未定
引火点	70.55°C (159°F) (PMCC、ASTMD-93)
可燃性	非可燃性
自然発火温度	自然発火はしない
爆発の危険性	なし
燃焼の限界	
下限	未定
上限	未定

GA 油落とし 強力

蒸気圧	未定
1ガロンの重量	7.020ポンド/1ガロン
比重	0.8412
20°C (68°F) 蒸気濃度	(空気=1) > 1
蒸発率	(BuAc=1) > 1
水溶解性	水に混和する
その他のデータ	なし

10

安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	反応性なし
避けるべき条件	熱や発火源から離す
混解危険物質	強力な酸化剤、酸とアルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11

有害性の情報

急性毒性	
皮膚刺激性	軽度
眼刺激性	軽度
感作性	情報なし
追加の毒性学情報	仕様に従って使用されれば製品は、製品は過去の経験、又提供された情報では有害な影響はなし
発がん性のカテゴリー	
IARC (国際がん研究機関)	全成分が有害リストに記載されていない
NTP (米国国家毒性プログラム)	全成分が有害リストに記載されていない
OSHA-Ca (米国労働安全衛生局)	全成分が有害リストに記載されていない

12

環境影響情報

毒性	
水性環境毒性	追加情報なし
滞留性・分解性	追加情報なし
環境システム内の動き	
生態蓄積性	追加情報なし
土壌中の移動性	追加情報なし
追加生態上の情報	
生分解性	
PBT 及び vPvB 評価の結果	
PBT	該当しない
vPvB	該当しない
その他の有害情報	追加情報なし

GA 油落とし 強力

13 廃棄上の注意

残余廃棄物処理方法	
推奨事項	生分解性。この製品は、米国資源保全再利用法(RCRA)により評価されている。購入した形状で破棄する場合、有害廃棄物の範中には入っていない。
汚染容器包装	
推奨事項	廃棄する時は、関連法規に従って行うこと。

14 輸送上の注意

国際規制	航空輸送は、IATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連番号	該当しない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
国連正式品名	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
輸送の危険性クラス	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
梱包グループ	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
環境の危険性	
海洋汚染物質	該当しない。
ユーザーに対する特別な注意	該当しない。
MARPOL73/78の附属書 II 及びIBC	
コードに従ってのバルク輸送	該当しない。
国内規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	「漏出時の処置・漏出時の設置」の項を参照。 「取り扱い及び保管上の注意」の項を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う。 火気注意。

海洋汚染防止法

該当しない。

GA 油落とし 強力

16

その他の情報

ディレクティブ 67/548/EEC

又は、指令 1999/45/ECによる分類

人間と環境に対する有害性

分類体系

該当しない。

製品は国際ガイドラインの計算手順によりラベルを付ける必要ない
分類は国際物質リストの最新版に基き作成され、会社及び
文献データを使用している。

ラベル要素

ECのガイドラインに従ったラベル

化学物質を扱うときは、一般的な安全規制に注意を払う。

有害部室に関する指令によると製品は識別規制に従う必要はない

分類体系

NFPA レーディング (0-4)



健康 = 0

火 = 1

反応性 = 0

HMIS レーディング (0-4)



健康 = 0

火 = 1

反応性 = 0

他の危険性

PBT及びvPvB評価結果

PBT

該当しない。

vPvB

該当しない。

記載内容は当社の最善な調査に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有りえるため、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してくださるようお願いします。

また、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用ください。